

ボーリング柱状図

調 査 名 西戸崎（大岳）地区土質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シート No

ボーリング名	N o . 1		調査位置		福岡市東区大岳1丁目地先							北緯		33° 38' 51.0"				
発注機関	福岡市 港湾空港局 港湾建設部 工務課				調査期間		平成 28年 7月 5日 ~ 28年 7月 14日					東経		130° 20' 43.0"				
調査業者名	朝倉地質工業株式会社 電話 (092-474-6543)		主任技師		時川 真一		現代場人		井上 芳晴		コ鑑定者		時川 真一		ボーリング責任者		芳田 康一	
孔口標高	2.43m	角 180° 上 90° 下 0° 方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 地盤勾配	鉛直 90° 水平0° 使用機種	試錐機		吉田 Y B M - 0 5 型				ハンマー落下用具		コーンプーリー					
総掘進長	27.00m				エンジン		ヤンマー N F - 8 型				ポンプ		吉田 G P - 5					

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取			室内試験(掘進月日)											
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数			打撃回数／貫入量 (cm)	深 度 (m)	試験名および結果	深 度 (m)	試料番号	採取方法												
												0	10	20																		
												〃	〃	〃																		
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	事	(m)	10	20	30	(cm)	0	10	20	30	40	50	60	(m)	(m)	号	方	法	(m)	日				
1					砂	淡茶			GL-1.00mまで人力による試験。 GL-2.00mまでロッド挿入により障害物有無確認。 細～中粒砂主体。 GL-1.00mに自然水位。 水位以深は孔壁崩壊。	7/6 1.00	1.15	3	5	5	13 30	13															7/6	
2	0.98	1.45	1.45								1.45	4	3	2	9 30	9																
3					礫混じり砂	暗茶			中～粗粒砂を主体。 1.65m～2.05mにコンクリート介在。 φ2～50mm大の礫を混入する。 含水量多く、孔壁崩壊著しい。		2.45	2	2	2	6 30	6																
4											3.15	2	2	2	6 30	6																
5											3.45	3	5	6	14 30	14																
6	-3.27	4.25	5.70								4.15	3	5	6	14 30	14																
7					シルト混じり砂	茶灰			細～中粒砂を主体。 シルト分混入。 孔壁の崩壊著しい。		4.45	6	7	6	19 30	19																7/7
8	-4.57	1.30	7.00								5.15	6	7	6	19 30	19																
9											5.45	6	4	3	13 30	13																
10					砂	灰			細礫混入の中～粗粒砂。 密度「中位」 孔壁の崩壊著しい。		6.15	6	4	3	13 30	13																
11	-7.27	2.70	9.70								6.45	4	5	4	13 30	13																
12					粘土質砂	暗灰			細～中粒砂を主体。 粘土分混入。 密度は「緩い」		7.15	4	5	4	13 30	13																7/8
13	-8.32	1.05	10.75								7.45	6	6	7	19 30	19																
14											8.15	6	6	7	19 30	19																
15											8.45	5	6	8	19 30	19																
16											9.15	5	6	8	19 30	19																
17											9.45	3	2	2	7 30	7																
18											10.15	3	2	2	7 30	7																
19											10.45	1	1	1	3 30	3																
20											11.15	1	1	1	3 30	3																
21											11.45																					
22											13.15	1	1	1	3 30	3																
23											13.45																					
24											14.15	1 15	1 15		2 30	2																
25											14.45																					
26											15.15	1 15	1 15		2 30	2																
27											15.45																					
28											16.15	1	1	1	3 30	3																
29											16.45																					
30											17.15	1	1	1	3 30	3																
31											17.45																					
32											18.15	1	1	2	4 30	4																
33											18.45																					
34											19.15	1	1	2	4 30	4																
35											19.45																					
36											20.15	1	2	1	4 30	4																
37											20.45																					
38	-19.27	10.95	21.70								21.15	1	2	2	5 30	5																
39											21.45																					
40											22.15	2	2	2	6 30	6																
41	-20.12	0.85	22.55								22.45																					
42					砂質粘土	暗灰			若干の固結が見られる。		23.15	3	3	4	10 30	10																
43	-21.32	1.20	23.75								23.45																					
44											24.15	9	11	11	31 30	31																
45	-22.47	1.15	24.90		砂礫	暗灰			φ2～30mm大の礫を多く含む。 マトリックスは粗粒砂と若干の粘土。 孔壁の崩壊著しい。		24.45																					
46											25.15	14	20	16 8	50 28	54																
47											25.43	50 9			50 9	167																
48											26.05																					
49	-24.57	2.10	27.00		砂岩	灰			やや風化し土砂状～短柱状コアにて採取。 軟岩状を呈し、安定した支持地盤、		26.14																					
50											27.00	46	4 1		50 11	136																
51											27.11																					

[illegible]